

令和七年

松香 Komunikado

令和七年二月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは、令和七年二月度の月次祭を、すがすがしく齋行させて頂き、誠に有難く思います。ご参拝並びにご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました皆様方に、御礼申し上げます。

今年の節分大祭は、穏やかな天気で寒さも厳しくはありませんでした。祭官ご奉仕くださった、藤澤様、ご苦労様でした。真剣にご奉仕くださり、ありがとうございます。また人型活動にお仕えありがとうございました。私は、昨年末に入信された方と、未信徒の方で節分大祭が初めての方をご案内して、参拝させていただきました。大本の丁寧なしかも真剣にされている様子に感心されていました。

二月九日発行

第三百二十三号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三二・二一七三

発行責任者 山本 健

【節分大祭での教主様のごあいさつより】

大本におきまして、本日の節分大祭は、太古の昔世の元の祖神様でありながら、節分の夜にご退陰のやむなきに至り長らくこの世を陰からご守護なさっておられました国祖国常立尊様が絶体絶命の時節を迎え、再び同じ節分の夜に御出現になりましたことを寿ぐ一年で最も意義深い祭典で御座います。

一八九二年明治二十五年今から百三十三年前の節分の夜、国祖、国常立尊、良の金神様は開祖様の口を借りてわれよし、強いもの勝ちの乱れた地上世界を根本から立て替え立て直して元の神代に戻し、みろくの世を建設するという大本開教の真の目的をご宣言になりました。

今年は今和^{みろく}五六七の三か年の最終年であり、くしくも今日の節分は旧暦の正月五日大本が開教した記念の日に当たります。この度は、今までの世界の終わりとこれからの世界の始まりが交差し世の中が大がわりする節目ともなる特別な節分大祭であると存じています。

自分さえ良ければあとはどうなっても良い、自分の権力地位お金等私利私欲のためなら、人がどんなに苦しもうが構わない、強い物だけが勝ち残れたらよい、という神仏をも恐れず傲慢な精神がはびこり世のながれ、悪が極まり、穢れてしまった今の世界の、天地人一切の罪穢れ邪気を祓い清め、洗い流して清らかな水晶の世となりますように、本日の宇宙一切を浄化する大潔斎神事、世界各国の国土を清める中潔斎神事、一身一家を清める小潔斎神事においてこれまで以上に力をこめ真心をもってお仕えさせて頂きたいと存じます。

今こうした大祓いのご神事、日々のお祓い、お祓い祝詞である神言を何度も奏上させていただくことなどが、非常に重要なご神業であることを強く感じさせていただいております。開祖様のお筆先に世界に大きなことや変わりたことが出てくるのは。みなこの金神のわたる橋

である。というお示しが御座いますが、政治経済文化社会宗教科学さらには人群万類の命にかかわることまで、ありとあらゆることが驚くべきスピードで大きく変わりつつあります。私たちはご神書を繰り返し拝読して、神さまの慈悲の御心を悟り、真実に向き合い変化を前向きに受け止め直日の御魂に照らして自分なりにあらゆる情報を、総合的にじっくり考察して判断し、先を見越して新たな未来に向けて、まえつまえつに自分ができる最善と思えることを、実践し、あるいはご親縁に結ばれた仲間同士何か積極的に行動してみることが大事ではないかと思えます。そしてそれぞれの国や地域の歴史伝統文化を尊重し大切にしながらお互いに思いやりを持って従来の価値観にとらわれず、執着を手放してこうしたあらゆる現実に柔軟に対応していかなければならないと存じます。神さまはすべての人にどのような悪人に対しても、心から改心したらその場で許す、と何度も何度も繰り返し改心する機会をお与えくださっています。この度は改心せずにはこの世におられなくなるという、最後の機会なのかもしれません。世界中に渦巻く怒り憎しみ悲しみなどの負の感情や自己の心の隙きに宿る慢心や邪気をうち払うためにも、日々の祈りやお祓い

に努め、戦争や紛争飢餓病災害のない世界、すべての人々が抑圧や恐怖不安にさらされることなく安心して明るく穏やかに幸せに暮らせる世の中になりますよ、又人群万類すべてのものが仲良く共存できる世界を目指して私たち一人一人の心の中に、愛と調和と感謝にみちたみるくの世を築いてまいりたいと存じます。すべての皆さまが、神さまの大きなご守護と豊かな恵みのもとお幸せに過ごされお元気で御用にお励みいただけますよう心からお祈り申し上げごあいさつとさせていただきます。

見渡せば野にも山にも皇神の

恵みの花は咲きみちてあり

以上がごあいさつです。最初一部を抜粋しようと思っておりますが、何処も非常に大切なお言葉であり、結局ほとんどすべてをご紹介させていただきました。教主様のお言葉を何度も聞いて、素直に実践させていただきますでしょう。

又、大祭開始前に行われた大本AIZEN講演では、稚姫君命様が、二度目の世の立て替えの時の救いの御用をされることの話されました、皆さまには、LINEで転送して居りますので、是非お聞きください。神界の激しい

動きにしっかりとついていけるよう、大本の動き教主様のお言葉をしっかりと聞いて、実行していただきたく思います。

去る一月二十六日に大栗淑子様が九十七歳でご昇天になりました。松香分苑の維持発展に貢献していただきましたことに感謝申し上げます。娘様もずっと介護にお仕えされ、淑子様もさぞ喜ばれて逝かれたものと思えます。葬儀は山本と小林様ご夫妻とでつとめさせていただきました。その際には、分苑の方々にもお松や神饌物の準備、霊璽作成などお手伝いいただき、誠に有難うございました。

Koran dankon